

# 天然自然の摂理～元の理～

2020.12.19 ver. -作成途中- ©小林真

人間が生きて意味。それは人を助け楽しませ、遊び心の中に喜び勇む道、「陽気遊山」にある。自分の身体、又、この世の全ては、陽気遊山の為に借りている物で、心のみが自由な存在である。心が自ら陽気遊山に向かう時、現実はずいぶん変わる。この図表は、世の中の事象・現象を全て解き明かすものである。深く思案してみてください。

どんな道も、案じ心は持たぬよう。  
 どんな時も、この身、全てを借りているのを忘れずに。  
 どんな小さな事象にも、自分にとって何かの意味がある。

十柱の働きには、「陰の働き=神」主体(陽3:陰7)のものと「陽の働き=人間」主体(陽7:陰3)のものが存在する。

自分ではなく、周りを立てる心。普段は見えない陰で下から支え、大事な所で俊敏に足を運びつづけて支える。局面を見極める洞察力と仲間(他の骨)との密接な連携が欠かせない。

足の役割。頭低く、影で下の方から支える柱の働き。  
 ここぞという所で俊敏に硬化する働き。  
 物事が治まる理。

過剰(くもよみ不足):  
 もう不要なものや引き出さなくていいものまで引き出してしまふ状態。  
 不足(くもよみ過剰):  
 物事の表面部分が目について、隠れた長所や本質に気付かず、また句を見誤り、引き出せない状態。長所や良さを潰してしまう状態。

⑥月よみ  
 体内: 骨, 首, 足腰, 男一の道具  
 世界: つっぱり支える働き  
 立てる働き, 柱, 茎, 岩石, 地殻  
 遠心力, 膨張力, 反発力  
 外へ移動, 凸型  
 六日六日おさまる  
 七日に治まる

⑨をふとのべ  
 体内: 出産時に子を引き出す働き  
 身長, 爪, 毛髪, 成長, 思い出す, 閃き  
 世界: 引き出し一切, 潜在的なものを引き出す働き, 教育, 動植物の成長

⑧かしこね  
 体内: 息, 呼吸, 鼻で吸い(加温, 加湿, 清浄) 口で吐く(冷暖房, 加湿除湿)  
 声, 言葉, 耳, 聴覚, 平衡感覚  
 世界: 風, 音, 空気, 大気  
 振動, 波, 潮の満ち引き

⑤くにさづち  
 体内: 皮膚, 肉, 筋原繊維, 血管系, リンパ管系, 女一の道具  
 世界: 柔軟な繋ぎの働き  
 花, 縁, 出会い, 引き寄せ  
 求心力, 万有引力, 内を充実  
 凹型

②をもたまり  
 体内: 体温, 活力, 感情  
 交換神経, 運動神経  
 世界: 火, 太陽, 熱, 光, 電気  
 マントル, エネルギー, 晴れ  
 プラス電子, S極, 昼

①くにとこたち  
 体内: 眼, 心根, 睡眠, 感覚神経  
 副交感神経, 涙, 潤い, 体の70%水分  
 世界: 水, 水素, 雨, 根, 夜, N極  
 マイナス電子, 地球の70%水分  
 宇宙の70%暗黒エネルギー

物事の主軸, 起点となり、ほこりや汚れを洗い流し澄ませる水の心。冷静で、広大な海の心。目の前ではなく、遠くの景色(目的地)を見るから落ち着く。気長にやさしく。見えない陰で尽くす楽しみ。「目は心の窓」眼は心根の現れ。

①くにとこたち  
 先に楽しみを見定め、陰で落ち着いて物事の根っこを澄み潤わせる心  
 左の役割  
 陽3: 陰7

⑩たいしよく天  
 体内: 出産時に親子の胎縁(臍の緒)を切り、出直し時に息を引き取る働き。散髪、爪切り  
 世界: 切ること一切  
 細胞分裂, 食物の収穫

④いざなみ  
 女, 苗代(環境)の働き  
 素直に受け入れ育む心  
 四日 仕合わせ

③いざなぎ  
 夫, 種(元)の働き  
 まっすぐな堪能の心  
 三日 みにつく

⑦くもよみ  
 体内: 嗅覚, 味覚, 咀嚼, 飲み込み, 消化  
 吸収, 排泄, 代謝, 解毒, 免疫, 循環調節  
 理解, 記憶, (不要な情報を)忘れる  
 世界: 水気循環, 溶解(分解 酵素)→蒸発(吸収, 分離)→気体→雲(凝固, 老廃物)→降雨, 降雪(排泄)

⑧かしこね  
 流れを生み、向きを変える働き。  
 言って勇ませ、聞いて楽しむ心

⑤くにさづち  
 陰の働きを有難く思い、こみ上げてくる明るいぬくみの心

②をもたまり  
 陰の働きを有難く思え、湧き上がってくるぬくみの心。温かい光で周りを明るく照らす、見える働き。物事の原動力となる。我が事を忘れ、人を喜ばせ、助けたいという思い。感謝, 情熱が行動へ

①くにとこたち  
 心定めが全ての起点。  
 お陰様の理。  
 天の理と心の理を合わせよう。

くにとこたち不足時:  
 高血圧, 不安症  
 ストレス過多, 高熱, 過緊張, 不眠症, 眼の身上 etc.

くにとこたち過剰時:  
 自分にまとう欲(泥)を捨て  
 いんねん, 運命を切り替える

仕切る働き。眼を閉じて冷静に思い切り、切を付けて進み出す心  
 陽3: 陰7  
 陰での働き

必要不要を嗅ぎ分け、味わい咀嚼して受け入れ、残留物は流す循環・順応の心  
 陽7: 陰3  
 陽での働き

物をゆっくり柔軟に受け入れ、子ども心でぎゅっと繋ぐ心  
 陽7: 陰3  
 陽での働き

温かい心が消化・吸収・排泄を促し、物事の循環を生み出す。

人を助ける処に、自分が助かる。相手とともに、皆で助かっていく道。

【二つ一つの理とその均衡】  
 対になる働きは助け合い、シーソーのように運動して作用する。  
 ①くにとこたち: ②をもたまり  
 ③いざなぎ: ④いざなみ  
 ⑤くにさづち: ⑥月よみ  
 ⑦くもよみ: ⑧をふとのべ  
 ⑧かしこね: ⑩たいしよく天

隣の合う働きも夫々似ており運動している。なのでこの図は3Dで立体視することも可能に思われる。

HP: <https://karakosha.net/youkiyusan>